

山 広報 令和4年(2022)

4 月号 No.778

きなりの郷とは… 純粋、素朴、まざりけのないと言った意味で、「本物の暮らしのある村」という願いを込めた言葉です。

きなりの郷

下
北
山

池原地区の桜

令和4年度

施政方針

3月10日に開催された、令和4年第1回村議会定例会において、南村長は令和4年度における施政方針について、次のとおり説明しました。

本日、令和4年3月下北山村議会議定例会の開会にあたり、新年度の施政方針と主要施策の概要等についてご説明申し上げ、議員各位並びに村民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、昨年を振り返りますと、コロナに明け暮れた1年でありましたが、秋頃からは感染者も全国的に減少傾向が続き、少し安心できるかと思いうのも束の間、年末から感染力、伝播性の高いオミクロン株が確認されるや、年明けには都市部だけでなく各地で感染者数が急激に増加しました。ここに至りて感染者数は全国的に減少傾向にあるものの、しばらくは高水準で推移するとの予想がされています。本村では、2月3日から高齢者を優先して3回目のワクチン接種を順次進めて来ており、3月6日には18歳以上の村民の希望者の接種がほぼ完了しました。また、何ら

かの事情で3月6日までに接種できなかった方には3月30日に、5歳から11歳までの小児用のワクチン接種は3月31日に予定しています。村民の皆さまには、引き続きマスクの正しい着用や手指の消毒、換気などの基本的な感染対策をお願い致します。

また、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けています。これは、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、断じて容認できない暴挙です。ロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちにすべての軍隊を完全に撤退させ、平和的に対応することを強く求めるものであります。

このように国内外において不透明感が増す中、2月22日に国の令和4年度予算案が衆議院本会議を通しました。年度内に成立見込みとなりました。一般会計予算案の総額が、107兆6千億円となり、令和3年度当初予算106兆6千億円から1兆円膨らみ10年連続で過去最大を更新しました。令和4年度予算は、令和3年度補正予算と一体となつて、コロナ対策に万全を期しつつ、

コロナ再拡大に備えて予備費を令和3年度に引き続き5兆円を盛り込んだほか、成長と分配の好循環による新しい資本主義の実現を掲げ、成長戦略の第一の柱としてのデジタルを活用した地方の活性化関連費用など、岸田総理肝煎りの政策にも予算が組まれています。

令和4年におきましても、コロナの感染拡大が拭えませんが、基本的な感染対策を習慣化した上で、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えながら、国の補助金など有利な財源を積極的に活用して持続可能な村づくりを進めていく所存です。

人口減少が続く中、持続可能な村づくりを進めていくには、村が有する多様な地域資源を活かすとともに、人が住み続ける生活の仕組みづくりやビジネスを興すことができる人材を育成すること、あるいは呼び込むことが必要です。そのためにも、職員の新規事業へのチャレンジや研修等を積極的に推進するとともに、関係人口の人たちをはじめとした多くの人々との交流を深めていくことが重要であると考えています。

学校教育

将来を担う子どもたちの教育充実のために、これまで進めてきた小中

一貫教育を更に深めた9年生の義務教育学校が令和4年度より新たにスタートします。学校名は「下北山小中学校」です。9年間という長いスパンで一貫した教育を進めていきます。更に国のGIGAスクール構想の下、昨年度から全児童・生徒に一人一台のタブレットを配備するなど小・中学校におけるICT環境が目覚ましく充実しました。これにより、ICTによる他校との交流やコロナ禍における遠隔教育を見据えた教育環境づくりを目指します。そして、新たな時代を担う人材育成の教育や、だれ一人取り残すことのない一人ひとりに応じた個別、最適化された学習を進めるとともに、少人数におけるコミュニケーション能力不足の改善を行います。

役場庁舎の移転改修及び公共施設建設計画

役場庁舎の移転改修につきましては、移転事業に係る基本計画及び実施設計委託業務を令和3年度及び令和4年度にわたって発注しています。基本計画ができましたら、議会と村民代表で構成する役場庁舎移転等検討委員会そして住民の皆様にもお示しして進めていきたいと考えています。



老朽化した教員住宅の更新事業も併せて計画しており、自然教室（旧池原小学校）跡地への建設を計画し、既存建物の解体を予算計上しています。解体については、教員住宅を建設する目的で行うことにより、有利な起債（過疎債）を財源としています。

予てよりの検討課題であった診療所の建て替えについては、令和3年12月議会、庁舎並びに公共施設等再整備検討特別委員会において、旧小学校グラウンド内に新築する案が同意されたことにより、今後は具体的な計画の検討に入り、役場庁舎の改修工事が終わり次第、診療所新築工事に着手できるよう準備を進めていきます。

令和4年度予算

村では、人口減少が進み様々な課題も発生してきていますが、令和4年度予算編成に当たっては、持続可能な村づくりを進めていくために、有利な財源を確保し、より効果的・効果的な予算編成に取り組みました。そのための予算として、本村の令和4年度当初予算は、一般会計で18億3,500万円、前年度比プラス9,600万円、約5.5%の増となっております。特

別会計7会計の合計は、6億4,701万1千円で、前年度比プラス3,766万1千円、約6.2%の増となっております。

一般会計と特別7会計の合計では、24億8,201万1千円で、前年度比プラス1億3,366万1千円、5.7%の増となっております。

まず歳入において、歳入の柱となる村税では前年度より994万2千円の増額を予定しております。税率の改定により前年度は減収を見込んでおりました法人税割につきましては、約130万円の増収を見込んでおります。固定資産税の償却資産については、電源開発、コージェネジーの資産増が主な理由として、前年度より780万円程度の増額を見込んでおります。また、森林環境譲与税を前年度より400万円程度の増額で予算を計上しております。国県支出金では、昨年に引き続き地方創生関連や道路整備関連の交付金や補助金、コロナ関連交付金等を見込んでおりますが、前年度はコロナに対するワクチン接種体制整備等の費用も計上しておりましたので、国県支出金につきましても全体的に減少しております。また、歳入比率の一番大きな地方交付税は、前年度の当初予算を、比較的厳しめに予算化してい

た関係もあり、令和4年度につきましては、前年度より9千万円の増額で予算を計上しております。歳出の大きな増額要因につきましては、前年度からの継続事業として、令和4年度も庁舎建設基本設計及び実施設計の費用が計上されています。また、自然教室の跡地を活用して整備を実施する、教員住宅新築工事にかかる自然教室及び体育館の解体・敷地整備の費用を予算化しておりますので、その分も歳出増額の大きな要因となっております。

森と生きる「仕事づくり、ものづくり、ひとづくり」

◆持続可能な森林づくり

施業放置林を解消し持続可能な森林管理を目指すために、村による民有林の公的管理「森林経営管理事業」を進めていきます。また、林業振興として、20%以下の間伐に対して補助をおこなう「弱度間伐事業補助金」、森林施業や管理に必要な森林作業道に対して補助をおこなう「森林作業道整備支援事業」、村内に事業所を置く小規模な事業体への運材に対して補助をおこなう「村産材生産促進事業」といった新たな補助制度を創設します。そして、地域おこし協力隊の卒業生に対する支援とし

て、小規模林業機械（小型バックホウ）を3年間に限り低額で貸与を行う事業を創設します。また、労災保険特別加入者の掛け金に対する助成を行います。財源は、国の森林環境譲与税や県の森林環境税などを活用します。

平成30年度から再稼働した林産加工施設については、本村の林業振興拠点施設として、林産物の利用促進と雇用の場の確保を図るとともに、今後予定される公共施設の建設等の木質化も推進し、村内で素材から加工までの一連の流れを全て完結する6次産業化を引き続き目指し、継続した管理運営を指定管理者と協力しながら進めます。

◆きなりブランドの研究開発

昨年度から新たな商品開発を指して地域おこし協力隊員を中心に任意団体（地域総合商社）を立ち上げております。現在地域に入って生産者と連携をとり、生産物の素材を活かした商品を開発しており、商品PR並びに販売を促進してまいります。ふるさと納税については、事業者のサポートを図るとともに特産品だけではなく体験型の返礼品を加えるなど返礼品の充実に努め、納税額のも更なる向上を目指します。

◆起業・就業支援

コロナの影響により、都市部での働き方が大きく変わろうとしています。今年度も引き続きBIYORIや下北山スポーツ公園を活用してテレワークやワーケーションの利用者拡大と企業誘致を進めていきたいと考えています。

BIYORIに隣接する移住交流体験施設「むらんち」については、テレワーク利用者並びに移住希望者の利用を促進するとともに、ウェブサイトを「きなりと」を通じて、引き続き村の魅力を発信していきます。

◆森に遊ぶ「もてなし、ふれあい、感謝づくり」

◆交流・関係人口の拡大

観光拠点である下北山スポーツ公園は、コロナの影響で特にサッカー合宿客が減少していますが、引き続き奈良県とも連携して奈良県南部地域の拠点としての機能強化とソフト面及びハード面の充実を進めていきます。ソフト面では、昨年より奈良クラブと連携協定を締結したことから、トレーニングキャンプの誘致や下北山スポーツ公園及び村のPR発信について連携をとって実施するほか、村づくりセンターと連携し、新規サッカーチームの合宿誘致も進め

ていきます。ハード面においては、池の平グラウンドの芝生の良質化を図るため散水施設の整備を行う他、下北山スポーツ公園宿舎では、パーベキュー場に併設して合宿客に対応するための手洗い場を兼ねた洗い場の新設や調理用品や布団を保管するための倉庫を新設します。

キャンプ場については、WiFi環境が全エリアに整備されたことから、ワーケーションの利用促進及び年間を通じた集客アップに努めていきます。また、施設の老朽化に伴い平成の森キャンプ場A型タイプバンガロー5棟の屋根の全面改修を行います。

関係人口の取り組みについては、関係人口として村に関わっている慶応大学生を中心とした東京の学生団体「まとい」が新たなメンバーを増やすなど継続的な活動をしてきています。引き続き村外に住みながら村に愛着を持ってくれる関係人口の創出に取り組んでいきます。

下北山村の魅力等の情報発信については、引き続きフェイスブック及びインスタグラムなどSNS等を活用する他、今年度は、ラジオ放送などによる情報発信をテスト的に実施、テレビ放送については、奈良テレビ「わが街自慢コンクールふるさ

とCM大賞NARA2022」でグランプリを受賞したことから、年間200回の下北山村CMが放送されることになっており、下北山村の認知度を更に高めていく予定です。

文化財保護事業では、文化継承を担う人材の育成や文化に対して関心を持つ人との繋がりを構築していくため、歴史民俗資料館を拠点に下北山村の地域資源や観光資源の発信、オンライン講座、文化財展示スペースの作成などの事業を実施します。

◆風致景観整備事業

森林環境譲与税を活用し、国道169号沿いの音枝坂（下北山スポーツ公園上）の村有林の伐採を行い下北山スポーツ公園周辺の景観整備を進めます。伐採した木材は搬出し公共施設の木質化に利用していきます。

◆森で育む「子どもの笑顔ときなりライフ」

◆定住・転入の促進

令和元年度に策定した空き家等対策計画に基づき、村内の景観阻害や危険性のある空き家の減少に努めるほか、空き家の活用を促進するため、空き家の取得や改修等の補助制度の見直しを図ります。

空き家の活用を促進するために

は専門的な知識が必要であることから、国の財源を活用して、新たに村内に空き家コンシェルジュの常設事務所を設置し、空き家の適正管理、定住促進を円滑かつ確実にするため業務に取り組みます。

現在、遊休施設となっている旧保育所については、地域活性化交流拠点として村民や村外の人など幅広い層の方々がご利用いただける施設にするため、行政や村民、村外の関係人口の方々とその活用方法について協議を進めていきます。

◆結婚・出産・子育てへの支援

出産と育児に係る経済的負担の軽減を図るため、赤ちゃん誕生祝い金、2歳までのおむつ購入助成、チャイルドシート購入費助成を継続して実施します。

母子保健事業についても、乳幼児健診や妊産婦検診、不妊治療や新生児聴覚検査費用の助成を引き続き実施するほか、定期的に育児サークル及び育児相談会を開催し、育児中の保護者同士の情報交換や交流の場を提供し、育児不安の軽減に努めていきます。

保育所の運営については、昨年度コロナ対策の一環で購入した感染症予防備品（空気清浄機・顔認証体温計・手指消毒器）を活用しながら園

児たちの安心安全な保育を確保するとともに、引き続き早朝保育・延長保育の実施や1歳児保育の受け入れ等、保育事業のより一層の強化を図って子育て支援の充実に繋がります。

児童・生徒の保護者に対する経済的負担の軽減については、引き続き学校給食費の無償化をはじめ、就学援助費や特別支援教育就学奨励費補助事業を継続して実施します。

高等学校生徒の保護者に対する経済的負担の軽減については、高等学校進学対象者への奨学制度の継続や、県立寄宿舎や私立学校寮への入寮者支援として寮費の一部を支援する事業を継続実施します。併せて、へき地であるが故に都市部の子育て世代との間に経済的にハンディキャップが生じていることから、高校生生活応援補助金を継続して実施します。

放課後や夏休み期間の子どもの居場所づくりについては、児童の放課後支援対策として、1年生から6年生を対象とした放課後児童クラブ（学童保育）を継続実施するほか、放課後の子どもの居場所づくりとして、書道教室、英語教室、森のび教室の放課後子ども教室の開設や、夏休み中の寺子屋教室を開設します。

特に、夏休み森のび教室では、山の恵み、山の持つ機能など山での体験や遊びを通じて子供たちの五感を養ってもらえる時間を提供していきます。

◆暮らしやすい安心できるきなりの郷づくり

軽自動車税関係手続きのオンライン化と固定資産税、軽自動車税及び個人住民税などの納付手続きを電子化するための収納システムの改修を行います。それぞれのシステム改修を令和4年度中に実施し、令和5年度からオンライン化の手続きが可能となるようにします。

介護保険事業では、村外施設への入所者が増加傾向にあります。高齢者が地元で出来るだけ長く健康で暮らせるように、いこいの郷と連携して要介護・要支援以外の高齢者の方に対して早期予防を目的とした生きがいデイサービス利用等の補助を継続します。

健康管理事業では、毎年実施している総合健診やがん検診の受診率向上のための啓発に努め、病気の早期発見や日常の健康管理に繋がります。また、心の健康相談会を継続開催して精神的なサポート体制を維持するとともに、各種予防接種等を引き続き実施し、禁煙外来の補助も希望者

に行うなど、村民の健康管理に努めます。

高齢者福祉では、高齢者の方が生き生きとした生活が送れるよう、老人クラブと連携を取りながら支援や見守りなどに努めます。併せて老人クラブの活動にも積極的に支援します。

診療所につきましては、心電計を更新し更なる医療設備の充実に努めます。また、歯科診療所では、患者数の増加と診療内容の充実に対応するため、歯科衛生士の体制を強化します。

社会体育関係では、歩け歩こう大会やソフトバレーボール大会などのスポーツ推進活動を始め、子ども駅伝や高齢者グラウンドゴルフ大会、保小中合同運動会等、村民を対象とした健康生きがい活動づくりを実施していきます。

獣害対策では、「有害獣防除柵設置補助金」、「獣害対策奨励補助金」を継続するとともに、担い手不足対策としての「猟銃免許取得補助金」も継続します。また、新たに遠隔監視及び操作ができ、大量捕獲が可能な捕獲檻を県から借用し実効性の伴う捕獲を行います。

安全な道づくりでは、村道池郷線の災害防除工事の継続、村道不動線

の路側擁壁改修工事の継続、村道小佐田カシモチ線の新設及び村道寺垣内浦向線支線7号（庁舎進入路）の改良工事及び村道笠坊線（寺の坂）の舗装補修工事を実施します。また、インフラ整備として、橋梁点検業務及び橋梁補修工事とトンネル補修工事を継続して実施します。林道では、トボト谷線の環境保全工事を継続して実施します。

国道169号では、令和3年7月に広域交通道路計画において国道169号が奈良中部熊野道路として、高規格道路に位置付けられました。更に、重要物流道路に指定されるよう関係市町村と共に国・県に要望を行っていきます。現在奈良県の調査路線となっている前鬼首枝間については、奈良県から現道を活用し、橋梁とトンネル、道路拡幅等により高規格道路として整備していく方向で計画を進めているとの報告がありました。今後は、用地交渉を進めていくとともに早期事業化に向けての要望活動を実施します。

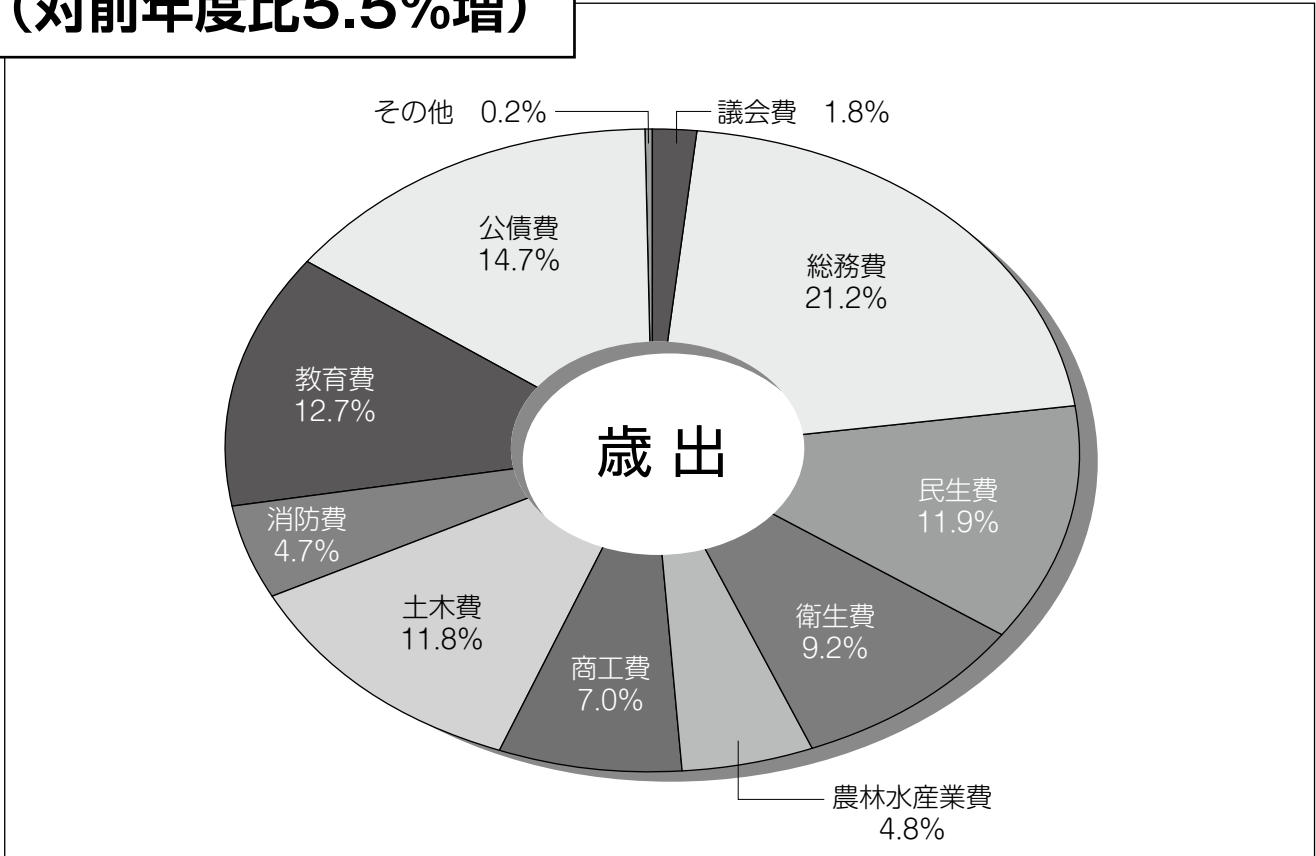
令和4年3月10日

下北山村長 南 正文

8,201万円(対前年度比5.7%増)

4年度当初予算の概要は次のとおりです。

円 (対前年度比5.5%増)



一般会計 (歳出・目的別)

(単位：千円)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	その他	合計
33,744	389,727	218,213	168,640	87,874	127,670	215,865	87,022	233,639	268,550	4,056	1,835,000

その他の内訳

労働費	予備費	計
100	3,956	4,056

一般会計 (歳出・性質別)

(単位：千円)

人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	公債費	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	予備費	合計
390,504	274,345	17,714	39,813	227,097	373,293	268,550	25,808	0	580	213,340	3,956	1,835,000

基金の状況 (一般会計分)

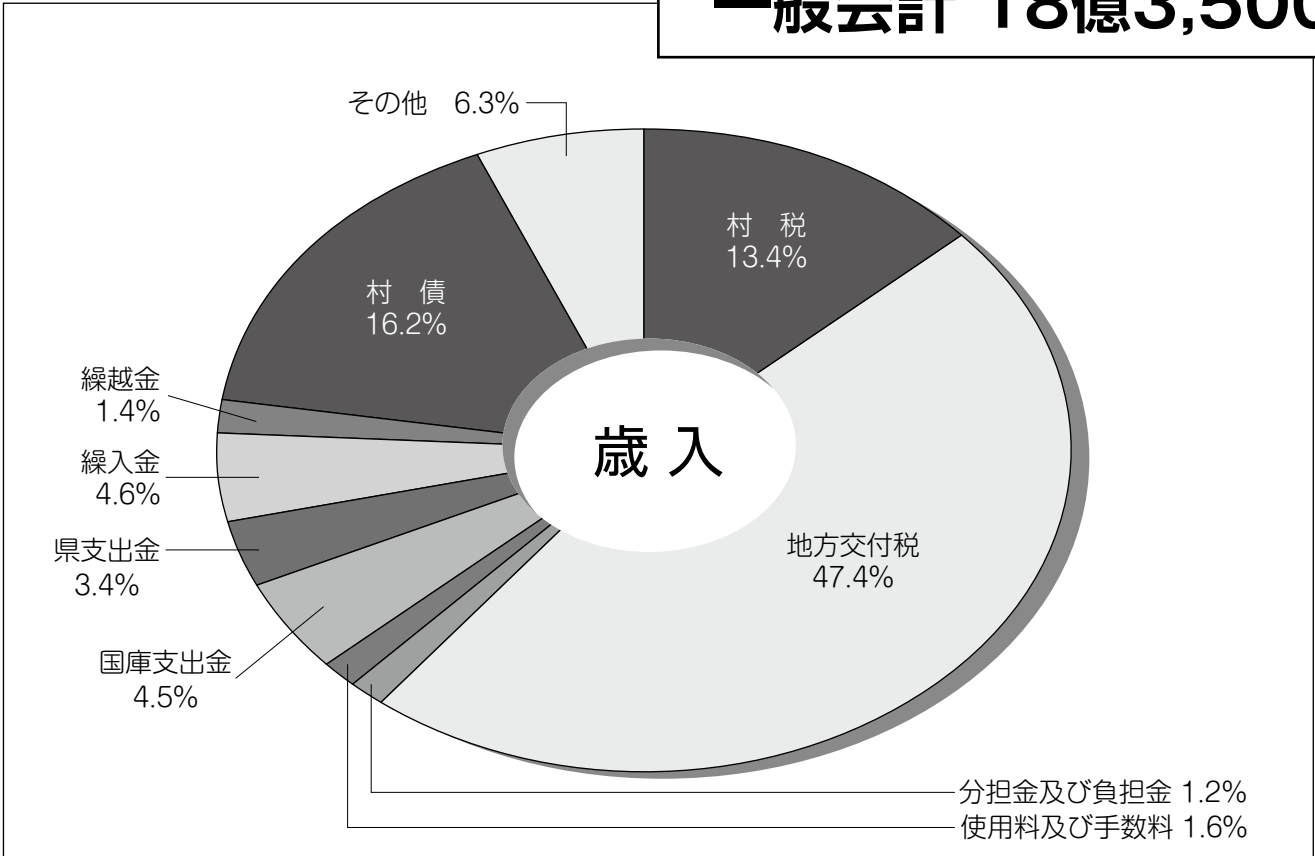
(単位：千円)

基金の名称	令和3年度末現在高(見込)	令和4年度末現在高(見込)	基金の名称	令和3年度末現在高(見込)	令和4年度末現在高(見込)
財政調整基金	1,556,067	1,510,967	公共施設基金	40,051	38,952
減債基金	123,663	123,694	消防団員特別出動等基金	61,029	61,350
庁舎建設基金	497,567	477,638	漁業施設基金	7,775	5,976
高齢者福祉施設管理運営基金	256,525	257,571	その他	204,557	211,609
			計	2,747,234	2,687,757

令和4年度 当初予算 総額24億

3月定例議会において承認された、令和

一般会計 18億3,500万



一般会計 (歳入)

(単位: 千円)

村税	地方交付税	分担金及び負担金	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	繰入金	繰越金	村債	その他	合計
245,229	870,000	22,728	29,513	81,722	61,948	85,297	25,000	297,200	116,363	1,835,000

その他の内訳

地方譲与税	交付金	財産収入	寄付金	諸収入	合計
36,407	27,165	12,513	21,001	19,277	116,363

※交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金
地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金

特別会計 6億4,701万1千円(対前年度比6.2%増)

(単位: 千円)

	国民健康保険	診療所	簡易水道	池の平公園	スポーツ公園	介護保険	後期高齢者	合計
令和4年度	155,557	105,552	88,538	13,373	48,024	212,121	23,846	647,011
令和3年度	157,630	108,803	58,600	12,876	56,596	193,054	21,791	609,350
前年度比増減額	▲ 2,073	▲ 3,251	29,938	497	▲ 8,572	19,067	2,055	37,661
前年度比増減率(%)	▲ 1.32	▲ 2.99	51.09	3.86	▲ 15.15	9.88	9.43	6.18

特集 Vol.18

「野菜と人が集う場所」
「土曜朝市」

【営業時間】 9:30～お昼すぎ（売り切れ次第終了）
 【場 所】 下北山スポーツ公園入口朝市広場
 【問合せ先】 NPO法人サポートきなり
 TEL：07468-6-0770 下北山村寺垣内1085

毎週土曜日、池原にある朝市広場には村内で育てられた野菜がずらりと並べられる。開店をいまいまかと待ちわびるお客さんで賑わっている朝市広場は、今ではすっかり見慣れた光景である。

そして9時30分になると係員の開始の合図とともにそれぞれ目当ての野菜を手に取り、たくさんあった野菜はあっという間になくなっていく。

土曜朝市がここまで定着するまでには、村を想うたくさんの方の努力や協力、試行錯誤があった。

土曜朝市は、「村内の需要は村内でまかなう」という目標のもと始まった。

「村には自分で作った野菜を消費しきれずに、近所へ配っても余るくらい野菜を作っている人がたくさんいるのに、村外で野菜を買う人が多かった。」と集落支援員の草野みなみさんは当時のことを振り返る。

草野さんはどうにか村の野菜が村内で循環するシステムが作れないかと考え、村の野菜が買える直売所を設けることにした。そこで、村で野菜をたくさん作っている人がいるという噂を聞いては、一人ひとり出荷のお願いをして回ったという。なんとか販売体制を整えていき、16名の生産者から、2013年の夏「土曜朝市」は小さなテント一つから始まった。

その秋には、それまで20年の歴史があった「青空市」の出荷者も全員加わり、生産者の

数は60名まで増えた。

その後、安定した野菜の集荷が可能になったことから、土曜朝市が始まった1年後には、学校給食への野菜の出荷も始まり、子どもたちが村の野菜を食べられる流れを作ることが可能になった。

このように今ではなくてはならないものとなった土曜朝市は、野菜を作る高齢者の生きがいにもなっている。

しかし、高齢化により生産者の数は年々減少傾向にある。村外からのお客さんも増え、朝市が定着してきた今、安定した出荷を保つていくためには村内で野菜を作る人を増やしていく必要がある。草野さんは「これまで野菜を作らなかった人が手軽に畑をはじめられる仕組みを作っていきたい。」とさらなる想いを語る。



草野みなみさん

福島県出身。宇陀市の山口農園で半年間の農業研修を経て、2012年に協力隊として下北山村へ。土曜朝市の立ち上げ、NPO法人サポートきなりの設立に関わる。



最後に「土曜朝市は年末年始と荒天以外は毎週土曜日必ず営業しています。隔週だと間違っても買いに来てしまう方がいるかもしれないという、朝市を楽しみにしているお客さんに対する想いがあります。」と語ってくれた。

朝市を支えるスタッフの中にはボランティアとして手伝う人もいて、生産者の皆さん、朝市スタッフの皆さん、買いに来られるお客さん、すべての人の村を想う気持ちによって土曜朝市は続いていく。

大崎さんは「青空市」の頃から野菜の出荷をしており、土曜朝市でも開店初期から野菜を出している。ブロッコリーやキャベツ、エンドウなど育てている野菜は数えきれないほどで、今でも毎週出荷を続けている。「たいがい売れて返ってくるのお。」という大崎さん。

「出荷した野菜がみんな売れてくれると、そりゃ嬉しいよ。」

と笑顔で語る大崎さんの顔はとても生き生きしていた。



大崎邦子さん

生産者の想い

～第一回ふるさとCM大賞NARA2022～



▲入賞した市町村と番組司会者らとの記念撮影の様子

今回製作した動画は奈良テレビ放送公式YouTubeでもご覧いただけます！



- 各 賞 —
- グランプリ 下北山村
 - スポット放送年間200回
 - 準グランプリ 御杖村
 - スポット放送年間100回
 - 協賛社賞 山添村
 - スポット放送年間 50回
 - 審査員特別賞 宇陀市
 - スポット放送年間30回
 - 参加賞 上記入賞以外の作品
 - にスポット放送10回
 - ※4人の審査員が、情報性、独特性、表現性から総合的に審査

村の朝市をテーマに作成した下北山村のCMがグランプリを受賞！

「ふるさとCM大賞NARA2022」は、奈良県内の市町村が30秒の動画でふるさとをPRする奈良テレビ放送主催の企画で、地域振興課の職員が土曜朝市を題材に動画を製作しました。第一回目の今年は、県内の24市町村がエントリーし、下北山村がグランプリに選ばれました！

【担当者コメント】土曜朝市を題材に選んだ理由は、下北山村の自然や暮らしの豊かさを伝えたいと考え、村内の生産者の方々が大切に作った野菜を村民の方々が買って食べる習慣が素敵だなと思ったからです。

また、たくさんの方々が集まる土曜朝市のにぎやかな雰囲気がとても気に入っています。動画は、村内放送が響く村の風景から始まり、朝市で野菜を争奪しよう様子、最後にはその野菜を使った鍋を囲む家族の姿が描かれています。村の魅力をスピード感ある構成で、ギョッと詰めたんだCMには、一人でも多くの人にご覧いただき、村の魅力を知ってほしいという想いが込められています。この動画は4月から、奈良テレビ放送のCMとして放送されます。ぜひご覧ください。

中学1年生が「下北山村の林業」について学びました

昨年度、下北山中学校の1年生は、総合的な学習の時間を使得「下北山村の林業」について学びました。どんなことを学び、どんなことを感じたのか、子どもたちが書いてくれた文章で紹介します。



私たち中学1年生は総合的な学習の時間に「下北山村の林業」について勉強しました。下北山村には林業に携わる人がいることは知っていましたが、具体的にどんな仕事内容かを知らなかったため、実際に森林や製材所に行って勉強させてもらいました。

まず、農林建設課の北さんに下北

山村の森林について教えてもらいました。森林の役割や新校舎に使われている木材のこと、間伐について学んだあと、実際に森林に行き、森林の健康診断も行いました。学校の裏の森林は、歩いてみると、思ったより木が密集していて暗いことに気がきました。

次に、森林で実際に木を倒す作業の見学や体験をさせてもらいました。木を倒すときに考えることがいくつもあり、どこに倒すと運びやすいか、木を切った後どこに逃げるかなどを考えながら切っているとのことでした。知らないことばかりだったのでとても驚きました。

さらに、私たちは製材所に行き、多い時には一日に六十本以上の木を



加工していることや、温泉のロッカー、テーブル、まな板などを作っていることを教えてもらいました。ここでクイズです！

製材所で作られたまな板は

- ・ 葛屋書店 代官山店
- ・ 近鉄 中川政七商店
- ・ ふるさと納税
- ・ ○○○○○○

などで手に入れることができます。○○○○○にはいる国は何でしょう？（答えは下にあります。）

製材所では木を切るイメージですが、それ以外にもまな板や温泉のロッカーなど、日常で目にするものを作っていることを知りました。他にもいろいろな機械を使って、木を加工していました。機械はどれも見たことがなくて、使い方が難しかったです。機械を使って、一日にたくさんのお木を加工している人たちはすごいと思います。

最後は、地域おこし協力隊の人たちの活動拠点へ見学に行き、木を加工する体験をさせてもらいました。地域おこし協力隊の方々、ふだん、



木を伐採する作業に取り組まれています。木を切る作業だけではなく、林業以外の森林の活用方法を考えるお仕事もされていると知り、驚きました。

私たちは下北山村の林業について勉強して、初めて知ったことがたくさんありました。いろいろな考えながらお仕事をしていること、製材所では木を加工して様々な製品を作っていること、林業は木を倒す以外にもたくさんのお仕事があることに驚きました。林業を詳しく知ることができました。

最後に、お忙しいなか私たちに林業のことを教えてくださった皆様ありがとうございました。

（答え：シンガポール）

国民健康保険加入者の皆さまへ

《令和4年度から国民健康保険税率が変わります》

国民健康保険は、病気やけがをしたときに安心して医療が受けられるように、加入者が国民健康保険税を納め、お互いを助け合う社会保障制度です。我が国の医療保険を支える制度であり、将来にわたり安定的に運営していく必要があります。

しかし、国民健康保険は「被保険者の年齢構成が高く医療費水準が高い」「低所得者の被保険者が多く所得水準が低い」という構造的な課題を抱えています。このような課題に対応するために法律が改正され、平成30年度から都道府県が市町村とともに国保の運営を担い、財政運営の責任主体となって国民健康保険制度の安定化を図っております。

奈良県においては、同じ所得・世帯構成であれば、県内のどこに住んでも同じ保険料になるよう令和6年度までに、段階的に保険料水準の統一化を目指しており、本村では令和4年度に3回目の税率改定を実施します。

加入者の皆様には、これまで以上の負担をお願いすることとなり、大変申し訳ございませんが、国民健康保険財政を取り巻く厳しい状況をご理解の上、税率の改正にご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

【改定前後の税率の比較】

	基礎課税分（医療給付分） （国保に加入するすべての方）			後期高齢者支援金分 （国保に加入するすべての方）			介護納付金分 （国保に加入する40歳～65歳未満の方）		
	改定前 （R3）	改定後 （R4）	上り幅	改定前 （R3）	改定後 （R4）	上り幅	改定前 （R3）	改定後 （R4）	上り幅
所得割（％）	5.7	6.7	1.0	2.45	2.89	0.44	2.13	2.79	0.66
資産割（％）	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0
均等割（円）	18,400	22,600	4,200	9,100	10,200	1,100	13,800	17,000	3,200
平等割（円）	18,600	19,300	700	6,800	7,600	800	0	0	0

ジェネリック医薬品を活用しましょう！

安心・信頼
Anshin Shinrai

国の厳しい審査をクリア
ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。有効性や安全性、品質も新薬と同等です。

低価格で個人負担が軽くなる
新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので、低価格です。医療の質を落とすことなく、経済的負担が軽くなります。

未来
Mirai

医療費を有効活用
個人負担の軽減だけでなく日本全体の医療費の効率化が可能です。その医療費は新技術や新薬の導入に活用できます。

医療保険制度を次の世代に引き継ぐ
少子高齢化が急速に進む中、現在の優れた医療保険制度を維持し、子どもたちや次の世代に引き継いでいくことに貢献します。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。

健康保険組合連合会 国民健康保険中央会 全国健康保険協会 国家公務員共済組合 下北山村

問い合わせ先：住民課国民健康保険係（☎6-0001）

【児童相談所による 定期出張相談】

奈良県こども家庭相談センターによる出張相談会が、吉野町及び下市町で開催されます。

子育てに関するお悩み等について相談されたい方は、電話での事前予約が必要となりますので、左記の連絡先よりご予約をお願いします。

◎事前予約連絡先

・奈良県高田こども家庭相談セン

ター
☎0745-2216079

◎日時・場所

・吉野町中央公民館

（10時30分～16時）

6月10日、8月12日、10月7日、
12月9日、2月10日

・下市町保健センター
（10時30分～16時）

5月13日、7月8日、9月9日、
11月11日、1月13日、3月10日

補助金・助成金のご案内

①下北山村定住促進事業住宅家賃助成

村営住宅または民間賃貸住宅等に入居している50歳未満の方

【助成金額】

家賃の月額から10,000円を控除した額の1/2。(上限50,000円)※100円未満切捨て

【支給期間】

申請のあった日の属する月からその月の属する年度の3月31日までとなりますので、継続して助成を希望される場合は毎年申請が必要です。また、助成金は3か月ごとにまとめて支給します。

②下北山村住宅活用促進事業補助金

本村に10年以上居住する又はしている方が新築や空き家等の購入、賃貸の用に供する目的及び本村に定住しようとする方に対し、予算の範囲内で購入費及び改修費の一部について補助します。

【補助金額】

新築補助	補助率	新築費の10%
	補助上限	単身・夫婦世帯1,000,000円、子育て世帯2,000,000円
賃貸改修補助	補助率	改修費用の50%
	補助上限	1,000,000円
物件取得補助	補助率	取得費用の50%
	補助上限	単身・夫婦世帯1,000,000円、子育て世帯1,500,000円
空家改修補助	補助率	改修費用の50%
	補助上限	単身・夫婦世帯1,000,000円。子育て世帯1,500,000円
家財処分補助	補助上限	50,000円

③下北山村起業支援補助金

本村に事業所の拠点を置き、新たな起業をしようとする方に対し、予算の範囲内で起業の準備費用の一部について補助します。

【補助金額】

事業費240万円未満：補助率 総事業費の1/5から4/5、補助上限 1,200,000円

事業費240万円以上：補助率 総事業費の1/8から1/2、補助上限 2,000,000円

【補助要件】

計画書提出後、審査委員会にて事業説明を行って頂き、その結果をもとに補助率を決定いたします。また、起業申請を行った年度より原則3年間、年度末に事業実績の報告が必要となります。

各補助金・助成金につきまして様々な条件等がございますので、申請を行う際は事前に地域振興課までお問い合わせください。

吉野消防署からのお知らせです
焼却行為からの火災が
多発しています!!

多発しています!!

奈良県広域消防組合管内では、焼却行為からの火災が令和3年中に119件、令和4年に入り2月末までに36件発生しています。

また、吉野消防署管内においても、同様の火災が発生しています。

これからの季節は空気が乾燥し、強風が吹く気象条件に加え、枯葉や枯草等に火が着きやすい状況が続くことから屋外での火の取り扱いは十分注意してください。

※例外を除き「野焼き」は法律で禁止されています。

・例外として焼却行為をする場合であっても消火用具を焼却前に確実に準備してください。

・乾燥注意報発表時、強風時は焼却行為をしないでください。

・一度に多量の焼却は、延焼拡大の可能性があるので避けてください。

・焼却行為中はその場を離れないでください。

・その場を離れるときは、火が完全に消えたことを確認してください。

・焼却行為を実施する前には、必ず「火災とまきらわしい煙又は火災を発生おそれのある行為の届出書」を消防署に提出してください。

第6回 ポリファーマシー



皆様こんにちは。少しずつ寒さもやわらいできましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて今回はお薬に関してのお話です。

薬の語源には諸説あるようですが、神秘的・霊妙な力がある・突出したといった意味の「くすし(奇すし)」から来ているのではないかとされています。「くすし」は神が行うことの形容詞としても使われていて、もともと薬が神秘的なものだったことが伝わってきます。病気になることは、神や悪霊の呪いなどと考えられていたこともあり、それを治癒できる「くすり」はとても神秘的なものと考えられていたのかもしれない。時代は移り変わり、西洋医学的な科学的アプローチによって薬の

役割も神秘的なものから科学的なものへと変化してきています。技術の進歩に伴いたくさんの良薬が作られ処方されていますが、その反面として近年「ポリファーマシー」という問題が発生しています。聞きなじみのない言葉だと思えますが、たくさんの(ポリ)、薬(ファーマシー)を服用している方が増えているということですから。十種類近くのお薬を毎日服用されている方も多く、今回はそれの何が問題かということをお話したいと思います。

①薬の副作用

どんな良い薬にも副作用はあり、使い方を間違えば毒にもなります。例えば、睡眠薬の一部には認知症を悪化させたり、転倒しやすくなり骨折のリスクを上げます。また、痛み止めとしてよく飲まれているロキソニンには、胃を荒らす、血圧を上げる、心臓・腎臓に負担をかけるなどの副作用があります。さらに、ロキソニンの副作用で高血圧になり血圧の薬を処方されるといふように、薬の副作用を薬で治療する本末転倒なことも起こってしまいます。もちろんそこは医療者側も十分注意して処方しなければいけないのですが、内服薬の数が多いほど、どの薬の副作用なのかの判断が難しく

なるのが現実です。

眠れない、痛いなどの症状は日常生活においてとても困ることではあります。もちろん薬の助けを借りることは必要ですが、漫然と毎日服用するのではなく、痛い時や眠れない時だけ飲む、少しずつ薬の量を減らしていくなどの努力は体のためにも必要です。

②薬の管理・把握が難しい

内服薬の数が増えるほど、患者さん、医療者含め薬の管理・把握が難しくなります。複数の医療機関から薬を処方されている方は特に注意が必要で同じ内容の薬が重複する可能性もあります。お薬手帳に記録を付けて頂いている場合はまだ把握できるのですが、記録がない場合は医療機関としても同じ薬を処方するリスクがあります。

また、患者さん側も薬の数が増えるほど何の薬を飲んでいいのかよく分からなくなりがちです。重複した薬があったとしても処方された薬なので頑張らなくて全部飲んでしまい、結果的に副作用で体調不良を起こしてしまう。さらに、内服薬の数が多いと管理が難しくなり、毎日きちんと飲めず、残薬の数が多くなるというジレンマもあります。

また、これは医療者側の問題で

はありますが、「処方薬が多くなるほど、本来処方されなければならぬ薬が抜けている」という皮肉な研究結果があり、普段診療している私としても耳が痛い話ではあります。何事もそうですが、薬の処方もできるだけシンプルにした方が本質を見落とすににくいということかと思えます。

③まとめ

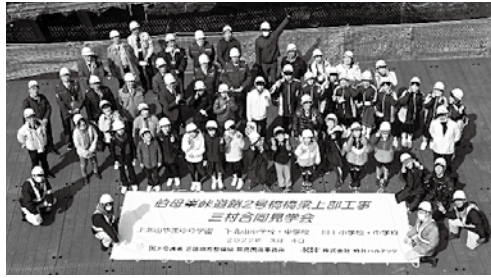
ここまで薬の悪い面ばかり取り上げてきましたが、もちろん薬は必要なものです。これからも薬と上手に付き合っていくために、薬の効果と害のバランスを考える必要があります。一時期はよく効いていた薬でも、高齢になると飲んでいて害が出てくるものもあります。天秤にかけて害が上回るようであれば中止すべきであり、その観点でいうと本当に必要な薬はそれほど多くはないのだと思います。今まで飲んでいた薬をやめるとなると抵抗を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし理想的には食事・運動などの生活習慣の改善で薬から卒業できることが目標です。またいつでも診療所でご相談頂ければと思います。

下北山村診療所 根津大樹

上北山村の一般国道169号で橋梁架設工事を見学

奈良国道事務所が開催する上北山村西原地区で行っている国道169号「伯母峯峠道路」の橋梁架設工事の建設現場を川上村、上北山村、下北山村の小、中学生が見学しました。

見学会では、工事の概要説明やドローン操作、VRでの危険作業体験、橋を架けるための特殊なボルト締め付け等貴重な体験をしました。



作業用通路（仮設橋）での集合写真



ドローン操縦を体験する様子

協力隊と支援員のつづき その102

今月号は河野&安井が担当します。

河野：3年間、どうもありがとうございました！下北山村の目の前に広がる緑豊かな山には、それぞれに山主さんがいて、山には境界があること。かつて、杉・ヒノキの苗が村で育てられ、人の手によって一本一本、植えられたこと。いま、その木々が育ち、少しずつ収穫させてもらえること。道づくりは、自然の摂理に沿って丁寧にたくさんの工程を経て、つくられていること、など知らないことばかりで、毎日が学びの時間でした。いつも温かく声をかけてくださる池峰の方々、各集落で応援して下さる多くの方々、そしていつも山と真剣に向き合い志のある役場林業担当 北さんと協力隊の仲間たち。感謝の気持ちでいっぱいです。これからはこの学びをもとに「森のび」として、引き続き、森と人をつないでいきます！



安井：3月をもって協力隊の任期を終えましたことを、ご報告します。これまで様々なご支援、ご協力誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。協力隊として村に来てから1年11ヶ月。気づけば、あっ！という間でした。ですが、自分の人生の中でも初めての事にたくさん挑戦した本当に学びの多い密度の濃い時間でした。そして、色んな人に支えられていること、自分が生かされている存在であることをあらためて実感する日々でした。昨年の初めに目標にも掲げましたが、「山に関わりながら、暮らしていける道すじをカタチにする」為に少しずつ取り組み、そして、ようやくスタート地点、1歩踏み出せるところまでやってきました！4月から任意団体「森のび」を法人化し、池峰を拠点に「小さな森林業」をはじめます。

森でのびのび 人のびのび 地域ものびのび
 ゆったりと美しい森が育っていくように
 森のそばで心地よく暮らせるように
 森と人との関わりを取り戻し、次世代につないでいく



環境配慮型の小規模林業を軸とした森林整備・計画づくり、そうした森林からの恵みを活かした商品開発・エネルギー利用、森と人との関わりを取り戻す人材育成・交流の場づくり・デザイン業務など森林に関わる様々な事業を展開予定です。従来の「林業」の枠にとらわれず、自由な発想で、小さく、焦らず、着実に。心地よく楽しみながらのびのびと。
 今後ともどうぞよろしくお願いたします。

地域おこし協力隊員紹介

奥田 深緒



勤務地：下北山地域総合商社

和歌山市から移住して来ました。出身は奈良県香芝市です。

11年ほどヴィレッジヴァンガードという会社でお仕事をしていました。ヴィレッジヴァンガードは本や雑貨を扱っているお店で、私の専門は本の売り場づくりと販売でした。

お仕事と平行して音楽活動もしています。歌うことが好きで学生時代はジャズ、今は日本民謡をしています。幼少時代から14歳くらいまでは日本舞踊をしていたということもあって、日本の伝統芸能・芸術や民俗学に興味があります。いずれは自分でも民謡教室を開こうと考えています。

下北山村の豊かな自然に惹かれて夫とともに移住して来ました。私は3月から下北山地域総合商社に勤めています。下北山村のことはまだまだ知らないことが多いので、色々とお教えいただければ幸いです。

集落支援員紹介

山崎 章



勤務地：NPO法人サポートきなり

村民の皆様、こんにちは。今年3

月より集落支援員としてNPO法人サポートきなりで勤務することになりました、山崎章と申します。日々の業務では草刈り作業や有償運送など、皆様の日常生活が少しでも安心して送れるよう支援してまいります。この村に定住する前は、泌尿器科の病棟看護師や市町村の保健師として活動してまいりました。その経験を活かして、皆様の健康に対する想いを受け止めながら、集落支援員という立場だからこそ出来る取り組みを推進してまいりたいと思っております。引き続きこれからも宜しくお願い致します。

こんにちは 保健師です



下北山村の美しい桜が今年も綺麗に咲いてくれましたね。4月を迎え、新しいスタートを切られた方も多いのでは？この時期は、慣れない環境で体調を崩されやすい方も多いですので、十分に気をつけてくださいね。

◎健康スタンプラリー始まる！

本年度も健康教室や介護予防教室、総合健診などの対象事業に参加頂きますと1回1ポイント(100円相当)のスタンプを進呈します。ポイントに応じて健康グッズや衛生品と交換できます！豪華賞品目指して楽しく健康づくりしてみませんか？

※スタンプカードは保健センターで配布中

◎ヨガ教室

ヨガはストレス発散にも効果があると言われております。青空のもと、開放感あふれるヨガを体験しませんか？

【講師】 榊井 紋子先生

【日時】 4月13日(水)

午前10時30分～正午

【持ち物】 バスタオルまたはレジャーシート、飲み物

【場所】 下北山スポーツ公園 イベント広場

【対象】 村内在住の方

【参加費】 無料

◎総合健診のお知らせ

総合健診の申込みはもうお済みですか？「健診でがんだと分かった。早期発見できてよかった」こういったお声を村の中でもよく耳にします。健診は1年に1回、ご自身の健康について考える良い機会ですので、ぜひ受診してください。

【健診日】 5月29日(日)

5月30日(月)

※30日は午前7時より早朝健診を実施 ※日時は申込者に後日個別通知

【場所】 下北山村保健センター ※送迎あり

◎肺がん(結核)検診について

総合健診の際に肺がん(結核)検診を実施します。65歳以上の方は年に1回の受診が法律で定められていますので、この機会に受診してください。

◎新型コロナウイルス接種について

(南奈良総合医療センター) 新型コロナウイルスの接種を希望されます方は、南奈良総合医療センターで接種することができます。事前の予約が必要となりますので、詳しくは南奈良総合医療センター

ホームページをご覧ください。

【申込み・問い合わせ】

保健センター

06-00015



駐在さん通信



春の交通安全県民運動が実施されます！

村民の皆さん、交通違反・交通事故には気をつけて運転してください！

【実施期間】

令和4年4月6日（水）～同年4月15日（金）

【スローガン】

交通事故のないやすらぎの大和路づくり

【運動の重点】

○子どもを始めとする歩行者の安全確保

○歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上

○自転車等の交通ルール遵守の徹底と安全確保

【奈良県重点】

○二輪車・原付車の交通事故防止

村民の皆さんへのお願

奈良県下では、毎日のように振り込め詐欺等特殊詐欺の不審電話が相次いでいます。

手口も様々で、実際に被害に遭われている方もいます。

皆様には、特殊詐欺の具体的な手口を知っていただくとともに、家族や親戚、知人の方にも注意を呼びかけていただきますよう、よろしくお願ひします。

また、携帯電話を掛けながらATMを操作している方を見かけたら、還付金等の詐欺被害に遭っている可能性がありますので、声掛けをよろしくお願ひします。

皆さんがすぐに出来る防犯対策として、防犯電話を利用する方法があります。防犯電話の活用や、怪しい電話にはすぐ返事せず、ご家族やご近所、警察に相談してください。

交通事故に十分注意してください！

小さいお子さんのいるご家庭では、シートベルトやチャイルドシートの着用を習慣付けてあげてください。少しの移動でも面倒がらず、確実に着用してください。また、これから気候が良くなり観光客の乗用車やオートバイが増加してきます。

国道169号は重要な生活走路です。大きな交通事故が発生すれば、長時間の通行止めになる場合

があります。

交通事故を起こさない・遭わないために

○速度を控えて安全な速度で

○カーブの手前で十分減速

○交差点では必ず安全確認

○横断歩行者の安全確保

○ヘッドライトの早めの点灯とハイビームの有効活用を心掛けてください。

また、村内では動物との衝突事故も多く発生しています。動物との事故も、夜間は速度を控え、ハイビームを有効活用することで事故を回避できる場合がありますので十分注意して走行してください。

警察官募集中！

令和4年度警察官採用試験の募集が開始されています。

第1回目の試験受付期間は4月15日までです。

受験資格など詳細や、ご家族や知り合いの中で、警察官を目指されている人、チャレンジしてみようという人がいたら駐在所までお問合せください。

池原駐在所 ☎5・2003

寺垣内駐在所 ☎6・0031

下北山村安全で住みよい村づくり推進協議会

池原駐在所 門川克己巡査部長に感謝状贈呈



3月25日（金）役場において、下北山村安全で住みよい村づくり推進協議会面岡忠男会長より、池原駐在所に多年にわたり勤務されました門川克己巡査部長の異動に伴い、これまでの治安維持、幼児や児童生徒の安全確保及び交通防犯指導の功績を称え感謝状が贈呈されました。

門川巡査部長は平成18年3月に池原駐在所に赴任してより16年間、村民の身近な困りごとをはじめ、子どもたちの安全確保はもとより交通・防犯教育、村内での交通事故防止や、犯罪抑止のパートナーに取り組み、村民が安全で安心して生活が送れるよう活躍頂きました。

てんいち先生



マイナンバーカードの平日夜間窓口のご案内

下記の日程におきまして、マイナンバーカードの夜間窓口を開設いたします。夜間窓口の利用を希望される方は、必ず、**前日までにご予約**ください。ご予約がない場合は、実施いたしません。

お仕事などで昼間来庁することが難しい方は、ぜひこの機会にご利用ください。

【開庁日】

4月19日(火)・5月24日(火)・6月21日(火)

17時15分～19時00分まで（最終受付：18時50分）

【対象の手続き】

- ・マイナンバーカードの受取り
- ・電子証明書の更新

マイナンバーカード 休日窓口の開設について



月に一度、マイナンバーカードの平日夜間窓口を開設しておりますが、下記の日程におきまして、ご予約いただいた方を対象にマイナンバーカードの受取り休日窓口を開設いたします。利用を希望される方は、必ずご予約ください。

【開庁日】 令和4年4月24日(日)

午後1時00分～午後3時00分

【対象の手続き】 マイナンバーカードの受取り

【予約締切】 令和4年4月22日(金) 午後5時まで

※証明書類の発行や料金の支払いなど、マイナンバーカード以外に関するお手続きはご利用いただけませんのでご注意ください。

ご不明な点等ございましたら、
下記までお問合せください。

住民課マイナンバーカード係 ☎6-0001

令和4年2月分の
ふるさと納税実績
納税件数 18件
納税金額 246,000円
ご協力いただきました皆様、
ありがとうございました。

シルバー募金にご協力いただいた方
上桑原（3月11日）
徳本貢一さん
池峰（3月24日）
中務さん
下桑原（3月30日）
山岡昌幸さん
ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

謹んでお悔やみ申し上げます
福岡 すみ子さん(下池原)
令和3年9月29日逝去
享年86才
徳本 房美さん(上桑原)
令和4年2月25日逝去
享年90才
中 幸さん(池峰)
令和4年3月21日逝去
享年92才
山岡 カズ代さん(下桑原)
令和4年3月23日逝去
享年87才

ご卒業・ご卒園おめでとうございます



保育所

- 田中 星鈴 さん ●下面 紗那 さん
- 峯 二美 さん

卒業・卒園のシーズンを迎え、中学校では3月27日、小学校では3月23日、保育所では3月25日にそれぞれ卒業式・卒園式が行われました。

4月から新しい学校生活が始まりますね。不安や戸惑いもあると思いますが、共に過ごした仲間との思い出を胸に、勇気をもって新たな一歩を踏み出してください。

特に、中学校を卒業された皆さんはこれまで慣れ親しんだこの下北山村を離れ、また親元を離れての生活となり、今までと全く違った環境の中で新しい生活がスタートします。中学校時代に学んだことを糧にして精一杯頑張ってください。

なお、卒業・卒園された皆さんは次のとおりです。



小学校

- 井奥 湊 さん ●岡本 啓汰 さん



中学校

- 中村 優真 さん ●戸嶋 悠嗣 さん
- 徳本 雄大 さん ●門川 嶺秀 さん
- 大上 咲良 さん ●下垣内 萌乃架 さん
- 竹株 凜 さん ●仲村 美咲 さん

人の動き

令和4年2月28日現在

	先月比	前年同月比
人口	830人 (-2)	(-25)
男	386人 (-2)	(-12)
女	444人 (±0)	(-13)
世帯数	531戸 (±0)	(-9)

発行 下北山村役場 〒639-3803
 奈良県吉野郡下北山村大字寺垣内983番地
 ☎(代)07468-6-0001
<http://www.vill.shimokitayama.nara.jp/>

村の情報を発信しています



広報誌に掲載しきれない写真や情報などをインターネットで発信していますので、ぜひご覧ください!



▲村の暮らしを届ける
ウェブサイト「きなりと」



▲LINE



▲YouTube



▲Facebook



▲Instagram